

輸血検査研修会報告書
生涯教育研修会報告書
学発番号 第11-008号

平成23年7月9日報告
報告者:万木 紀美子
所属:京都大学医学部附属病院
連絡先:075-751-3629

行事名:実技講習会(中級)
日時:2011年7月9日 9:30~17:00
場所:京都保健衛生専門学校 第3実習室
講師:万木 紀美子

分類:検体検査 052-20点
全体参加人数:29人
会員参加人数:23人
京臨技のみ参加者:1人
非会員参加人数:5人

以下、講習会内容など

遅発性溶血性副作用をテーマに輸血前後の検体を準備し、

- ・血液型、不規則抗体検査、交差適合試験、直接クームス試験、赤血球抗体解離試験を実施した。

リファレンス抗Dコントロールキットの抗D血清を用いて、

- ・抗D原液、2倍希釈、4倍希釈、抗体陰性血清2種の5検体に同一血球を添加し、クームス法での凝集の捉えかたを検討した。

遅発性溶血性副作用を発症した実例をもとに生化学データなどの検査データの推移、や輸血量など症例報告を行い、それに合わせて調製した輸血前後の検体を用いて各々の検査を実施した。初級の実技に引き続き中級を行っており、今回は直接クームス試験と赤血球抗体解離試験、解離した赤血球抗体の不規則抗体検査を実施することにあつた。輸血検査基礎勉強会として「輸血検査の基礎」というテーマで講演を実施していたこともあり、参加者の手技は安定していた。また、リファレンス抗Dの検討では、必須とされる原液での反応は全ての参加者が捉えられていた。また、8割の方が2倍希釈、4倍希釈の凝集を捉えられていた。

以上